

第10号

慈恵園だより

発行所
 芦別市旭町28番地
 特別養護老人ホーム
 芦別 慈恵園
 発行責任者
 田村 美之
 印刷所
 (有)ワタナベ企画いんさつ

祝 ♡ 白寿



いつまでも 健やかに お元氣を!!

写真のお二人は、右が
 さん、左が さ
 んです。二人共少し緊張して
 います。

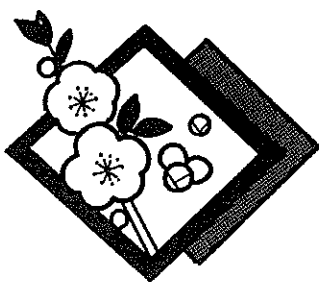
お二人は共に明治三十五年
 (西暦一九〇二年)のお生ま
 れで、昨年の敬老の日には郵
 政省より白寿のお祝いを頂き
 ました。

お二人共とてもお元氣で、
 三浦さんは朝の体操やクラブ
 活動等にも積極的に参加され
 ています。

さんはお部屋で穏やか
 に過ごされることが多いので
 すが、行事等に参加されると、
 楽しそうにしていらっしゃい
 ます。

また、御家族の方々もよく
 お見えになり、その時はとて
 も楽しそうです。

二十一世紀の幕開けの今年
 数えて百歳の大会に乗ったお
 二人ですが、これからも、健
 やかに楽しく過ごして頂きた
 いと願っております。



中野重雄理事長先生を偲び

施設長 田村 美之

平成十二年八月五日未明、竹重副院長をはじめとする精療院医師団の懸命なる治療、野田総婦長指揮下の精療院看護婦の方々、ご息女佳代子様とそのご家族の、渾身を振り絞った長い間の手厚い看護の甲斐もなく、八十九歳を一期として遂に永眠されました。まさに巨星去るの思いで、約二百名の中野ファミリー一同は生前賜ったご厚情を懐しみ、偉大なご事業ご功績をあらためて讃仰している昨今でございます。……………折御冥福。

さてご生前を追悼申し上げるにあたり、福祉の事業におけるご業績のみにさせていだきたいと思えます。

そもそも先生は社会的弱者に対する思いやりが深く精神的弱者を救うため、精療院をたてられました。高令化社会の到来を予見され、老人福祉法成立後までもない昭和四十五年二月一日、特別養護老人ホームとしては北海道第六番目の設立順位として慈恵園を建てられ、野田総婦長・寺岡

事務長と共に多くの困難を克服されながら孜々営々とその基礎をつくられたのであります。芦別のみならず、旭川・上川等全道各地のお年寄がどれだけ救済されたことでしょうか。そのご努力に対し昭和天皇から、事業御奨励のご下賜金を賜ったのを始めとして実に数々の褒彰・表彰をうけ、遂に平成十一年勲四等瑞宝章が授与され、今年従五位に叙せられる程赫々たる業績をあげられたのでございます。

慈恵園は今や植音高く園舎の改築工事が進められております。先生はその完成の日を大変楽しみにされておりましたのにと、私共は無念の思いで一杯でございます。しかし七月の地鎮祭に歛入された時のお喜びのお顔を拝し得ただけでもせめてと思いいそのご遺志達成に全力を尽そうと決意いたしている今日この頃でございます。……………合掌。

在りし日の 中野前理事長を 偲んで…………。

慈恵園開設当時の
若々しいお姿です



毎月のお誕生会には
お1人お1人に
優しい声を
かけられていました

昨年7月、改築工場の
地鎮祭ではおごそかに
歛入をされました



創立30周年記念式典を
お元気に迎えられました

